令和5年度　児童発達支援に係る事業所の自己評価

令和6年3月1日公表　　北本市立児童発達支援センター

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室スペースとの関係で適切であるか	○		
	②	職員配置数は適切であるか	○		基準は満たした配置ではあるが、相談支援事業や保育所等訪問支援事業の利用人数も増えていることや、児童発達支援センターが中核的な役割を果たすためには、人員の配置は検討課題である
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等はバリアフリー化や情報伝達等への配慮がなされているか	○		生活空間は掲示物や物の配置に配慮するなど、わかりやすい環境設定をしている 事業所内はバリアフリー化している 情報伝達できるよう、各クラスと事務所が内線電話で繋がっている
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		利用時間の前後に清掃、整理整頓をおこなっている 温度湿度計を確認し、適正な室温を管理している
業務改善	⑤	業務改善を進めるために PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画しているか	○		ケース会議等では専門職を含めた目標設定を検討し、日々の業務の中でも職員間で相談や検討を行いながら取り組んでいる
	⑥	保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		保護者向け評価を業務改善に繋げている
	⑦	事業者向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		ホームページで掲載し、公開している
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	虐待防止委員会では民生委員の方を含めた評価を行っているが、その他については、検討していく
	⑨	職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		園内研修では、必要な内容を職員が講師となり担当制で行っている 園外研修では、参加後に資料・報告の回覧と内容の共有を行っている
適切な支援の共有	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		ケース会議を行い、職員が子どもの姿や保護者のニーズを理解した上で、専門職員（言語聴覚士、作業療法士、公認心理師）を含めて検討を行いながら、支援計画の作成をしている
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		初回は保護者の方にも評価してもらいながら、発達を捉える手立てとして KIDS 乳幼児発達スケールを使用している 年長児に対しては必要に応じ、検査を行い、子どもの状態について保護者の方と共有している
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」（本人支援及び移行支援）」「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		具体的な支援内容を設定した児童発達支援計画を作り、保護者への説明を行っている

適切な支援の共有	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		担任や他のクラスの職員とも連携しながら、活動を検討している
	⑮	活動プログラムが固定化しないように工夫している	○		1日の活動では、じっくり取り組む活動と体をおもいきり動かす活動を組み合わせながら、計画している
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	○		個別的な活動、集団的な活動を子どもの状況に応じた目標に沿って設定し、支援している
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合せをし、その日行われる支援の内容や役割り分担について確認しているか	○		担任や担当で話し合う機会を設けている
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		職員間で気づいた点や支援内容等については迅速に情報共有を行っている
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		記録を職員で共有することで、支援の検証・改善に繋がっている
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		健康づくり課、子育て支援課、障がい福祉課と連携しながら支援している
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○	―	親子教室では、医療的ケアが必要な子どもを対象とした教室がある 障がい福祉課・健康づくり課と連携しながら行っている
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	―	―	
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		移行支援として、幼稚園、保育所等に保護者同席で支援内容の情報提供の機会を設けている 幼稚園、保育所に通いながら児童発達支援センターに通う時には、連携会議を行っている
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		小学校、特別支援学校の移行支援として、保護者の希望により、サポート手帳での支援内容の情報提供を行っている
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		埼玉県発達障害総合支援センターの研修を受けている 他の児童発達支援センターについては、情報共有も行っている
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		市内公立保育所の年長、年中児の交流を予定している

関係機関や保護者との連携	㉙	自立支援協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		自立支援協議会やこども部会に参加し、地域で抱える課題について、研修を行うことや、検討を行っている
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		その日の子どもの様子は、親子遊びの時間等で保護者の方と話しながら共有している 必要な場面では、個別の時間を取り保護者の方の話を聞きながら、共通理解の場を設けている
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	○		引き続き、埼玉県が実施するペアレントメンター事業の活用を考えていく 保護者が必要とする支援が行えるよう検討していきたい
保護者への説明責任等	㉜	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		
	㉝	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		
	㉞	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		保護者からの相談については、個別対応できるように場所、日時を調整し対応している 相談内容や助言・支援内容については、職員間で共有し、支援できるようにしている 相談内容によっては、専門職員（言語聴覚士、公認心理士、作業療法士）と連携し支援している 毎月、心理相談日を設けている
	㉟	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		家族会については、今後も保護者の連携を支援していきたい 園内の掲示板も活用している
	㊱	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		
	㊲	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		園だより『おひさま』を毎月発行している
	㊳	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		
	㊴	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		保護者の方に対しても、わかりやすい情報伝達を心掛けている
	㊵	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		年に１回、療育公開を行っている 市内幼稚園、保育所、小学校、特別支援学校等の先生方が参加している 今後は、地域の方も含めた活動も検討していきたい

非常時等の対応	㊶	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		さくらの部屋の横(壁際)に各種マニュアル等を設置してある
	㊷	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		毎月１回避難訓練を行っている 火災、地震、不審者対応、散歩先での災害等を想定した訓練を行っている
	㊸	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状態を確認しているか	○		
	㊹	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		
	㊺	ヒアリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		
	㊻	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		虐待防止委員会を設置している 職員で研修を行っている
	㊼	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に掲載しているか	―	―	身体拘束適正化委員会を設置している 職員で研修を行っている